

主な出来事

【内政】

- ロウレンソ大統領は、9月1日に国会で可決された改正総選挙基本法案に対し拒否権を行使し、公正な選挙が実現できるよう国会に同改正法案の再考を求めた。
- 9月1日、国会は改正中央銀行(BNA)法案を全会一致で可決した。
- アンゴラは各国の支援や国際枠組みを通じ、アストラゼネカ製ワクチン、スプートニクVワクチン、ファイザー製ワクチンを受領した他、シノファーム製ワクチンを独自資金で調達。

【外交】

- 9月16日、当地で対面形式により第3回大湖地域国際会議(ICGLR)ミニサミットが開催された。
- 9月16日、政府及び世銀は、世銀のCOVID-19ワクチン調達支援の枠組みに関する、1.5億ドルの融資契約を締結した。
- 9月20日から21日、ロウレンソ大統領はワシントンを訪問し要人表敬を受けた。また、23日、第76回国連総会に出席し一般討論演説を行った。
- 9月28日から30日、ロウレンソ大統領はスペインを公式訪問し、フェリペ6世国王との懇談及びサンチェス首相との首脳会談等を実施した。

【経済】

- フィッチ・レーティングスはアンゴラの信用格付をCCCで維持し、Moody'sはアンゴラの信用格付をCaa1からB3に引き上げた。
- 9月8日、運輸省はロビト回廊の鉄道運営・管理にかかる公開入札を開始した。
- 9月9日から13日、ルアンダで「再生と成長に向けたロードマップ」のテーマのもと、第2回アンゴラ・オイル&ガスが開催された。
- 9月20日、電力・水省と米企業サン・アフリカ社は、4州(クネネ州、ウイラ州、クアンド・クバンゴ州、ナミベ州)の各都市の電力プロジェクトに関する覚書に署名した。

能となった(9月30日付大統領令)。

内政

1. COVID-19 関連措置

- (1) 保健省公式サイト上で新型コロナワクチン接種完了証明書の取得が可能となった(保健省公式サイト)。
- (2) 9月30日、アンゴラ人および外国人居住者の再入国やアンゴラで職務にあたる外国人の入国等を例外として、10月30日まで国境封鎖が維持された。また、民間機関は、職場への出勤条件として、ワクチン接種証明書又は新型コロナウイルス検査の陰性結果の提示を求めることが可

2. 感染状況

9月30日時点における国内の累計感染者数は57,247名(内、累計死亡者数1,548名、累計治癒者数47,950名)であった(AN 9/30)。

3. ポルトガル政府によるワクチン支援

- (1) 9月2日、ポルトガル政府はアストラゼネカ製ワクチン20万回分を追加で供与する旨発表した(当館注:4回目のロットとして同日当地に到着した)(AN 9/2)。

(2) 9月30日、アストラゼネカ製ワクチン15万回分が当地に到着した。本件支援は5回目のロットであり、ポルトガル政府からアンゴラに対するワクチン供与は合計72万回分となった([NAM 9/29](#))。

#### 4. セルビア政府によるワクチン支援

9月14日、アンゴラ政府は、セルビア政府の供与によるスプートニクVワクチン5万回分を受領した。本件支援は、去る8月にニコラ・セラコビッチ／セルビア外務大臣が当地訪問した際に署名された覚書に基づき実施されたものである([AP 9/18](#))。

#### 5. 米国政府によるワクチン支援

9月26日、米国政府はCOVAXを通じアンゴラ政府に対しファイザー製ワクチン46万4,090回分を供与した。本件支援は3回目のロットであり、米国政府からアンゴラに対するワクチン供与は今般で合計164万6,960回分となった([9月26日付当地米国大使館公式サイト](#))。

#### 6. シノファーム製ワクチンの到着

(1) 9月7日付大統領令(第150/21号)により、シノファーム製ワクチン1,000万回分の調達承認された。ワクチン接種に要する運送や器具関連経費を含め総額8,800万ドルの支出となった([NJ 9/9](#))。

(2) 9月12日、アンゴラ政府はシノファーム製ワクチン50万回分を受領した。ルトウクタ保健大臣によれば、今般のワクチンは、COVID-19感染予防対策を強化するためにアンゴラ政府が調達したものである([AP 9/12](#))。

(3) 9月27日、アンゴラ政府はCOVAXを通じシノファーム製ワクチン120万回分を受領した。受領に立ち会ったムフィンダ保健副大臣は、今般ワクチンは、現在進行中のワクチン接種国家計画の継続のために使用される旨述べた([AP 9/27](#))。

#### 7. 経済企画大臣の交代

9月1日、セルジオ・サントス経済企画大臣が罷免され、新大臣にマリオ・アウグスト・カエターノ・ジョアン経済企画副大臣が任命された([AP 9/1](#))。

#### 8. 改正総選挙基本法案をめぐる議論

(1) 9月1日、国会は改正総選挙基本法案を賛成126票、反対52票(UNITA、CASA-CE、PRS)、棄権1(FNLA)で可決した。国会における与野党間の主な争点は開票方法であったが、従来通り国家選挙管理委員会(CNE)で開票を行うこととされた([AP 9/1](#))。

(2) ロウレンソ大統領は、国会で可決された改正総選挙基本法案に対し拒否権を行使し、公正な選挙が実現できるよう国会に同改正法案の再考を求めた([VA 9/10](#))。

(3) 9月11日、最大野党UNITAをはじめとする政治組織及び市民団体は、同改正総選挙基本法案に反対するデモを実施した。デモには数百名の野党支持者が参加した([DW 9/11](#))。

#### 9. 選挙人登録法案の可決

9月1日、国会は選挙人登録法案を全会一致で可決した。同法案は、国外のアンゴラ人居住者の普通選挙における投票を対象とする。同法によれば、同選挙人登録につき、本人確認サービスへのアクセスがない地域においては対面形式により行われる(当館注:本人確認サービスとは、法務・人権省市民及び犯罪者身分確認保管局や州及び市レベルの関係機関が中心となり、各個人の身元確認のデータの管理や身分証明書発行を行うもの)([JA 9/2](#))。

#### 10. 改正中央銀行(BNA)法案の国会承認

9月1日、国会は改正中央銀行(BNA)法案を全会一致で可決した。同法案は、金融政策運営における中央銀行の独立性の確保を目的とする。また、(任期が長い方が独立性に資するとの考え方から、)現行のBNA法(第16/10号)では5年(5年毎に延長可)であったBNA総裁の任期が今般の改正により6年(一期に限り6年の延長可)に変更された(当館注:さらに、同改正により大統領にBNA総裁を罷免する権限がなくなった。ただし、BNA総裁の任命は引き続き大統領が行う)([EX 9/1](#))。

#### 11. 一部輸入製品の関税免除

9月1日、工業・商務省は、物価上昇を抑制するため一時的に一部輸入製品の関税を免除する旨発表した。対

象品目は、米、豚肉、干し肉(牛肉)、鶏もも肉、トウモロコシ(穀粒)、食用油、粉ミルクである([AP 9/1](#))。

## 12. ドス・サントス前大統領の帰国

(1) 9月14日、ドス・サントス前大統領は2019年から滞在していたスペイン・バルセロナからルアンダに帰国した。今般の帰国は、前大統領一族とロウレンソ大統領間に軋轢があることから大きな注目を集めた。9月16日、ロウレンソ大統領及びドス・サントス前大統領は電話で挨拶を交わした(当館注: 会話の内容は明らかにされていない)([JA 9/17](#))。

## 13. 地雷除去活動完了の見通し

9月29日に開催された地雷リスク管理に関するセミナーにおいて、地雷対策庁(ANAM)は、地雷除去可能な汚染面積が平均約10平方キロメートル／年であることから、アンゴラの実地地雷除去活動完了の目標達成は2028年になる見込みであると説明した。現在、国内の実地地雷除去対象となる汚染面積は71平方キロメートル(1,102エリア数)である。2014年の対人地雷禁止条約(オタワ条約)加盟国によるマプト宣言において、アンゴラは2025年までに地雷除去を完了することを約束したが、同目標を達成するためには除去面積を増加させる必要があり、より多くの資金(当館注: 他紙報道によると2億ドル)が必要となる([JA 9/30](#))。

## 外交

### 1. 大湖地域国際会議(ICGLR)ミニサミットの開催

9月16日、ロウレンソ大統領のイニシアティブにより、当地で対面形式により第3回大湖地域国際会議(ICGLR)ミニサミットが開催された。各国首脳は中央アフリカ情勢に関し議論を行い、中央アフリカの「和平に向けた共同ロードマップ」を承認するとともに、同ロードマップの早期実施を提起した([ICGLR コミュニケ](#))。

### 2. ロウレンソ大統領のワシントン訪問

9月20日から21日、ロウレンソ大統領は、第76回国連総会への出席に先立つ形でワシントンを訪問し、ジェ

イク・サリバン米国家安全保障担当大統領補佐官及びナンシー・ペロシ米下院議長による表敬を受けた。また、21日、ロウレンソ大統領はアフリカン・パークス(African Parks)とクアンド・クバンゴ州のルエンガ・ルイアナ地域とマビンガの自然保護地区の共同開発及び管理の官民パートナーシップのための交渉を開始した旨説明した。さらに、環境団体(International Conservation Caucus Foundation: ICCF)主催の夕食会に主賓として招かれ環境保護政策により表彰された他、国立アフリカ系米国人歴史文化博物館の視察等も行った([VOA 9/21](#))([JA 9/21](#))([EX 9/25](#))。

### 3. 大統領の第76回国連総会出席・一般討論演説

9月23日、ロウレンソ大統領は第76回国連総会に出席し一般討論演説を行った。同大統領は、COVID-19ワクチンに関して、更なる増産が進みワクチンへのアクセスが向上されるよう、ワクチン生産の特許放棄につき国連で議論されることを期待すると述べた。また、マリやギニアをはじめとするアフリカ諸国でのクーデターを非難し、国際社会はクーデター主導者への非難声明の発出に留まらず、断固とした行動をとることが必要だと提言した([国連アンゴラ代表部](#))。

### 4. ロウレンソ大統領のスペイン訪問

(1) 9月28日から30日、ロウレンソ大統領はスペインを公式訪問し、フェリペ6世西国王との懇談及びサンチェス首相との首脳会談等を実施した。ロウレンソ大統領は、同国王との懇談において、スペインは常にアンゴラを優先国の一つとしており、アンゴラにとってもスペインとの二国間関係は極めて重要であるなどと述べた。また、本年4月にサンチェス首相がルアンダを訪問した際、二国間協力の様々な分野に関する意見交換を行い、複数の協定及び覚書が署名された旨言及した。さらに、同大統領は、フェリペ6世西国王をアンゴラに招待し、国王は同招待を受け入れた([JA 9/28](#))。

(2) 28日午後、ロウレンソ大統領はサンチェス首相と会談を実施した。同会談後の共同声明で、両国首脳は、二国間関係を深化させ、スペイン企業の対アンゴラ投資関心分野での協力を強化することで一致した([DW 9/28](#))。

## 5. 世銀によるコロナ対策支援

9月16日、政府及び世銀は、世銀のCOVID-19 ワクチン調達支援の枠組みのもと、1.5 億ドルの融資契約を締結した。(署名式に出席した)ヴェラ・ダヴェス財務大臣は、COVID-19 対策のため適切な資金動員を実施する旨約束した。また、市民社会及び国民に対し、ワクチン接種を行うよう呼びかけた([AP 9/16](#))。

## 6. アラブ首長国連邦外相のアンゴラ訪問

9月12日、ロウレンソ大統領はアブダラー・ビン・ザーイド・アール・ナヒヤーン／ア首連外務・国際協力大臣の表敬を受け、運輸、農業、工業分野をはじめとする二国間経済協力等に関する意見交換を行った([JA 9/13](#))。

## 7. タンザニア運輸省一行のベンゲラ州訪問

9月9日、タンザニア運輸省一行はベンゲラ州ロビト市を訪問し、アンゴラ政府と今後あり得べき協力分野の検討会議を行った。両国は、直行便の再開を目指すとともに、鉄道、海上交通分野での協力の可能性を模索している([AP 9/9](#))。

## 8. 大統領のカリブ共同体・アフリカサミット出席

9月7日、ロウレンソ大統領は、オンライン形式で開催された第1回カリブ共同体(CARICOM)・アフリカサミットに出席し、AU・CARICOM 間の協力関係を人権、民主主義、グッド・ガバナンス、テロ及び組織犯罪対策等の分野にまで拡大すべきであると強調した。また、環境、天然資源管理及び気候変動に関する協力についても言及した([JA 9/7](#))。

## 9. 国会議長の第5回世界議会議長会議出席

9月6日から8日、フェルナンド・ドス・サントス国会議長をはじめとするアンゴラ代表団は、オーストリア・ウィーンで開催された第5回世界議会議長会議に出席した。同国会議長は演説で、アンゴラ政府による新型コロナウイルス対策の取組に触れつつ、新型コロナウイルスワクチンの平等な分配を呼びかけた。([AP9/8](#))。

## 10. ギニアでのクーデターに関するアンゴラ政府表明

9月6日、アンゴラ政府は、ギニアでのクーデターに関し、「非民主主義的かつ違憲な行為であり、AU の1999年アルジェ宣言及び2000年ロメ宣言の原則に違反している」と非難した。また、アンゴラはコンデ大統領の即時且つ無条件の釈放を求める AU 及び西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)の立場を支持する旨表明した([JA 9/7](#))。

## 11. 国際 NGO・APOPO による地雷除去支援

9月22日、国家地雷除去院(INAD)及びAPOPO(ベルギーに本部を置く国際 NGO 団体)は、クアンザ・スル州における地雷除去に関する協力合意書に署名した。同事業は、ベルギー政府の資金援助を受けて実施される。また、地雷除去作業には、日立製の地雷除去機が活用される([VA 9/23](#))。

## 経済

### 1. 米企業サン・アフリカ社による太陽光発電開発

9月20、ロウレンソ大統領のワシントン訪問中(20日及び21日)に電力・水省と米企業サン・アフリカ社は、4州(クネネ州、ウイラ州、クアンド・クバンゴ州、ナミベ州)の各都市の電力プロジェクトに関する覚書に署名した。署名を行ったボルジェス電力・水大臣は、米国輸出入銀行(US EXIMBANK)による約15億ドルの融資により、従来の電力問題を解決するための送電網拡大、変電所建設及び太陽光発電を行う他、給水システムの設置を予定していると述べた([JA 9/22](#))。

### 2. バーラ・ド・ダンド海洋ターミナル関連

9月2日、ソナンゴルはベンゴ州に位置するバーラ・ド・ダンド海洋ターミナルの建設に関する契約3件を締結した。同ターミナルの第1建設は、2022年末までに完了する見込みであり、完了時には58万立方メートルの燃料の貯蔵が可能となる。ソナンゴルはブラジル企業OEC社(Odebrecht Engineering and Construction)と機材調達、建設工事および試運転(EPCC)にかかる契約を交わした他、アンゴラ企業SOAPRO社と環境影響調査に関する契約を締結した([AP 9/2](#))。

### 3. 信用格付関連

- (1) 9月2日、フィッチ・レーティングスは、アンゴラの信用格付を CCC で維持する旨決定した。また、2021年のアンゴラの実質経済成長率を0.1%と予測した([AN 9/2](#))。
- (2) 9月13日、Moody's はアンゴラの信用格付を Caa 1から B3 に引き上げた。引き上げ直後には、2025年に満期を迎える10年物ユーロ債の利回りは12ベースポイント減の6.11%まで低下した(当館注:発行時の表面利率は9.5%であった)([BB 9/14](#))。

### 4. アンゴラ国際産業見本市(FILDA)の延期

9月28日から10月2日に開催される予定であった第36回 FILDA が11月16日から20日の開催に延期された([JA 9/5](#))。

### 5. ロビト回廊に関する公開入札の開始

- (1) 9月8日、運輸省はロビト回廊の鉄道運営・管理にかかる公開入札を開始した([JA 9/7](#))。
- (2) 9月21日、ロビト回廊の鉄道運営・管理にかかる提案書の提出締め切りが12月7日まで延長された。事業内容は、ベンゲラ州ロビト市からモシコ州ルアウ市までの鉄道運営・整備等であり、大西洋からコンゴ(民)やザンビアの銅及びコバルト鉱山までを結ぶ輸送経路の整備を目指している([AP 9/21](#))。

### 6. 第2回アンゴラ・オイル&ガスの開催

- (1) 9月9日から13日、ルアンダで「再生と成長に向けたロードマップ」のテーマのもと、第2回アンゴラ・オイル&ガスが開催された。Energy Capital Power 主催で、ポール・マッカファティ Equinor 上席副社長、アドリアーノ・バストス BP アンゴラ上席副社長等が参加した([Afn 9/10](#))。
- (2) マルティンス／ソナンゴル総裁は、同社の一部株式の売却に関し、アンゴラ証券取引所(BODIVA)で実施した後にロンドン証券取引所で実施する予定であると発表した。また、同総裁は、既に株式売却に向けたプロセスは進行中であり、ソナンゴル再生計画のもと、子会社21社が5社まで再編された旨述べた([JA 9/11](#))。

### 7. 通信ネットワーク運用にかかる公開入札の開始

9月14日、通信・情報技術・マスコミュニケーション省は、国内の基幹回線網及びアンゴラ・テレコム社のMAN(メトロポリタン・エリア・ネットワーク)運用にかかる公開入札を開始した([AP 9/14](#))。

### 8. 第1回 FENANGOLA の開催

9月13日、当地で第1回アンゴラ農業・畜産・水産・工業見本市(FENANGOLA)の開会式が執り行われた。見本市は同月20日から25日、ルアンダ州カゼンガ市で開催され、農業・畜産・水産分野の生産者、零細商人、大企業の3つのカテゴリーで500を超える出展者を見込んでいる。[\(JA 9/14\)](#)。

### 9. ルアンダ鉄道におけるガス輸送の再開

9月19日、ルアンダ鉄道においてマランジェ州からのガスの輸送が再開された。1988年に内戦によりガスの輸送が停止されて以来、初めての輸送となった。ルアンダ鉄道の線路は全長479メートルであり、ルアンダ州、クアンザ・ノルテ州及びマランジェ州を結んでいる([VA 9/20](#))。

### 10. コーヒーの輸出量増加

国家コーヒー院(INCA)は、2020年農期にアンゴラはコーヒー約1,662トン(生産量全体の27.47%)を輸出した旨発表した。主要な輸出先は、ポルトガル、スペイン、レバノンであった。本年は2020年と比べ生産量が12.4%程度減少する見通し([ME 9/21](#))。

### 11. ソナンゴルの2020年赤字決算

ソナンゴルは2020年決算において、約41億ドルの赤字を計上した。コロナ禍における売上高の大幅な減少や石油関連資産の減損が損失の原因となった。また、同社の負債総額は2020年末時点で268億ドルに上り、同年債務返済額だけでも20億ドルが支出された([RE 9/17](#))。

### 12. ソナンゴル保有株の売却

9月22日、ソナンゴル及びオランダ企業 Diestman Marine 社はソナンゴル保有の Sonadiets 株30%の売却にかかる事業譲渡契約及び公正証書への署名を行っ

た。本売却は、ソナンゴル再生計画のもとで実施される子会社売却の一環である[\(JA 9/23\)](#)。

### 13. ANPG による鉱区落札者の発表

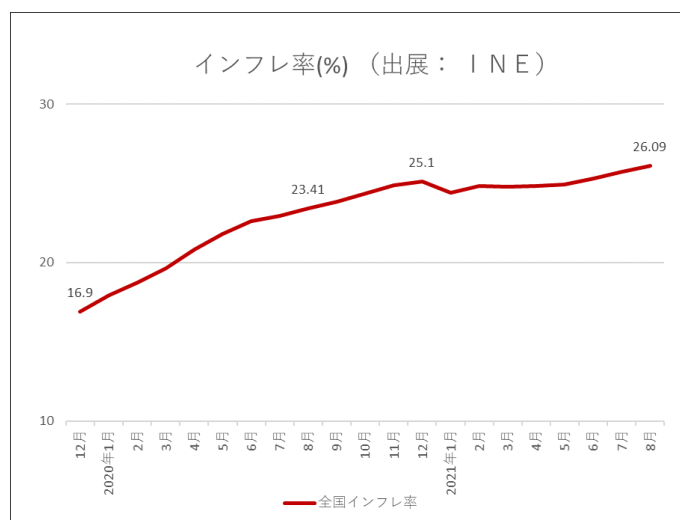
9 月 24 日、国家石油・ガス・バイオ燃料庁(ANPG)はコンゴ盆地及びクワンザ盆地の鉱区での探査事業にかかる公開入札における落札企業 3 社を発表した。落札企業は、米企業 Itanka グループ、米企業 Brite's Oil and Gas 社、カナダ企業 MTI Energy 社であった[\(ME 9/24\)](#)。

## 【主要経済指標】

### 1. 物価

国家統計院(INE)が発表した 8 月のインフレ率は、全国平均で前月比 2.30%、前年同月比 26.09%。

最も物価上昇に影響を与えたのは、食料品・非アルコール飲料(1.50%)、衣類・靴(0.06%)、保健(0.07%)、家具、家財、メンテナンス(0.10%)、運輸(0.09%)、モノ・サービス(0.13%)。



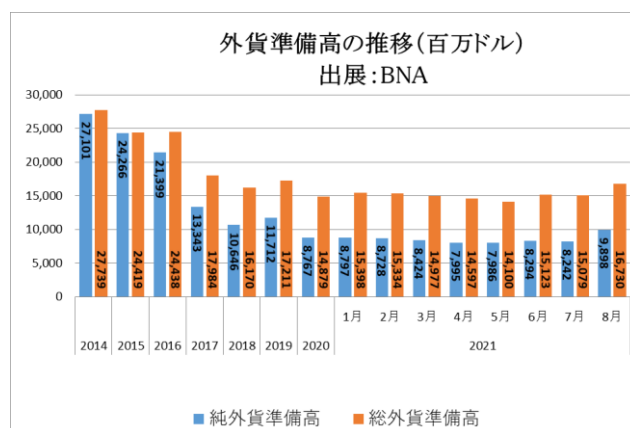
### 2. 金利

9月30日、金融政策委員会(CPM)が開催され、政策金利(20%)、限界貸出ファシリティ金利(オーバーナイト物)(25%)、流動性吸収ファシリティ金利(7日物)(15%)、外貨建て法定準備率(22%)の維持が決定された。

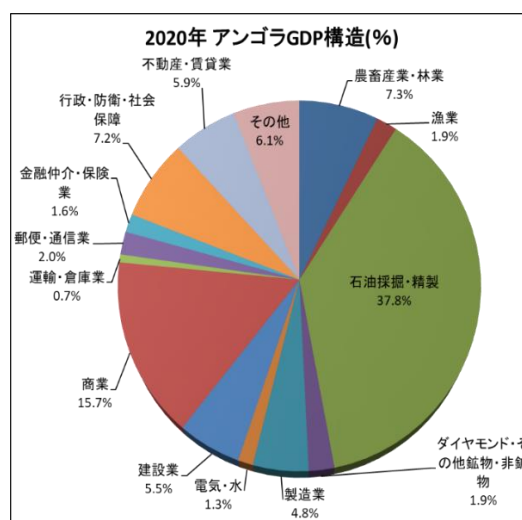
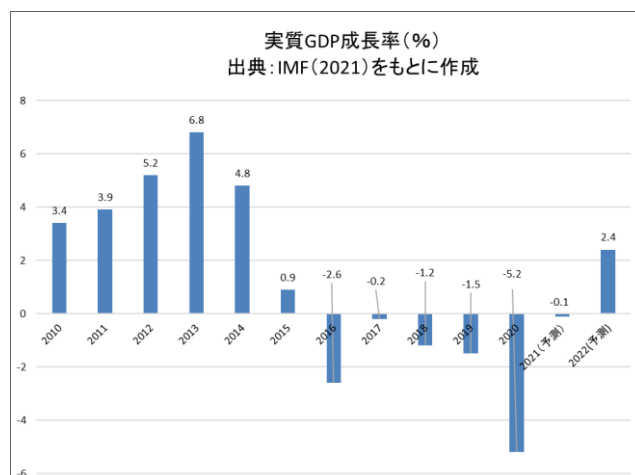
### 3. 為替市場

9 月 30 日、為替相場は 1USD=602.054AOA で推移。

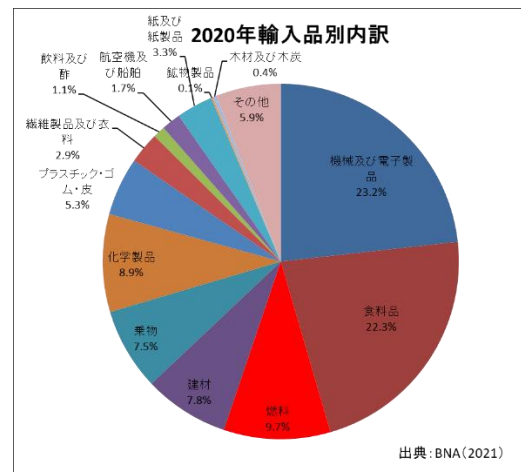
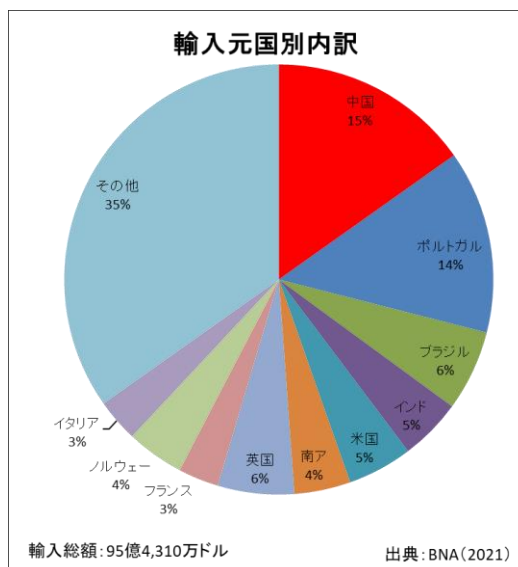
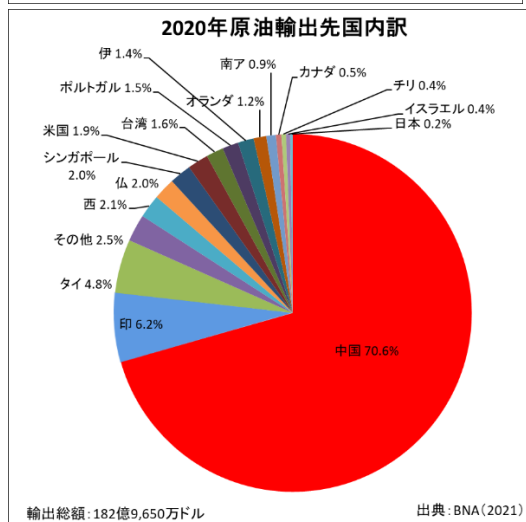
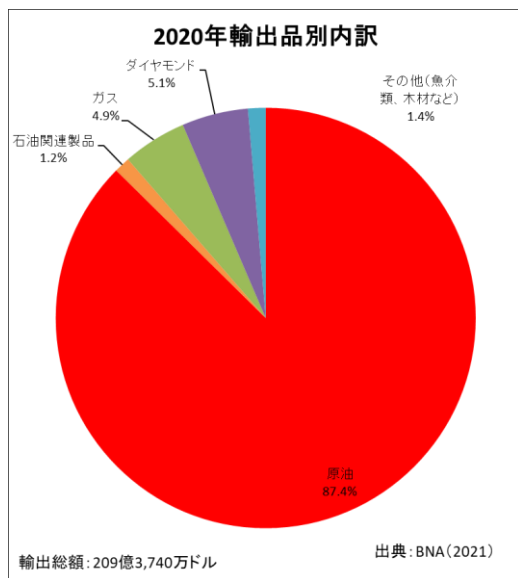
### 4. BNA 発表の外貨準備高統計



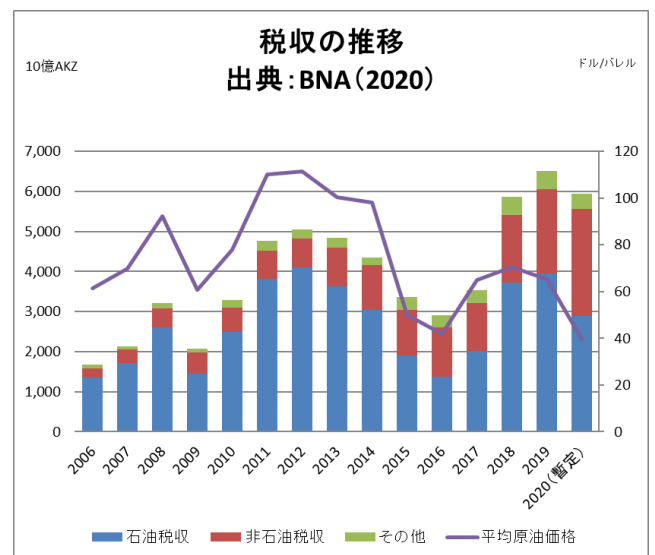
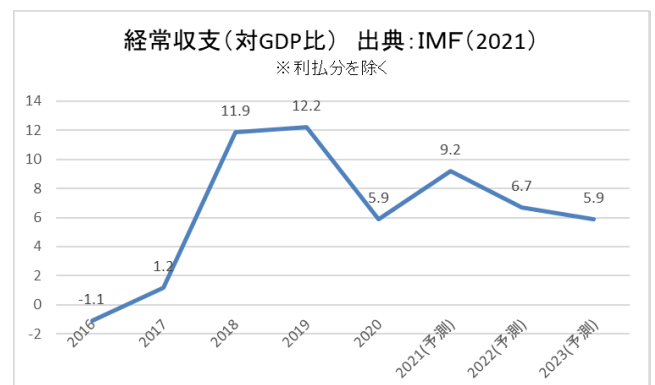
### 5. GDP及び成長率



## 6. 主要貿易統計



## 7. 財政主要統計



---

AA: All Africa、AC: アンゴラ華人報、AfN: Africa News、AN:Ango Notícias、AO: Angola Online、A024:Angola 24 horas、AP: Angop、BB: Bloomberg、CK: Club-K、CRK: Correio Kianda、DN: Diario de Noticias、DV: Dinheiro Vivo、DW: Deutsche Welle、EG: E-Global、EIU: Economist Intelligence Unit、EN: Euro News、EX: Expansão、EXP: Expresso、FT: Financial Times、FM: Forum Macao、GOV: Government' s Official Portal、JA: Jornal de Angola、JE: Jornal Economico、JN: Jornal de Negocios、LS: Lusa、ME: Mercado、MH:Macau Hub、MR: Mining Review、MW: Mining Weekly、NAM: Noticias ao Minuto、NJ: Novo Jornal、OBS: Observador、OP: O País、PA: Portal de Angola、PB: Publico、RE: Reuters、RFI: Radio France Internationale、TPA: Televisão Pública de Angola、VA: Ver Angola、VE: Valor Económico、VG: Vanguarda、VOA: Voice of America、WB: World Bank、WSJ: Wall Street Journal、XN: Xinhua Net